

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

アンケートの
回収数をこちらに記載

公表:令和 6年 4月 2日

事業所名 ビジントレーニング療育 ベすとびじょん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・子どもの人数や特性に応じて、動き方の内容も工夫しています。 ・午前と午後、未就学の低年齢・高年齢、そして就学児童と、曜日と時間で設定し調整していることで、工夫も可能となっています。	1	8	8	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・その日の利用児童の人数によって、また、利用児童の年齢によって、適正な人数の変動をおこなっています。	2	8	8	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・事前に活動の流れを予告したり、イラストなど視覚から取り入れやすくする配慮や、刺激となるものを室内に設置する事のないように配慮することで、集中しやすい環境を工夫しています。 ・当事業所はバリアフリーの対応はしておりませんが、階段には滑り止め、手摺りには安全に握りやすい工夫はしております。現在はバリアフリーを必要とする児童はご利用になられていません。	3	8	8	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・小さいお子様は、口に入れたり、物を噛んだり、唾を吐き出すお子様も通っておられます。ですので、使用する教材などの消毒はこまめにおこなっています。部屋全体の消毒も毎日頻繁におこなっていくように心がけていきます。	4	8	8	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	話し合いをおこなったり、HUGを活用して、全ての職員が周知できるように工夫しています。	5	8	8	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	保護者向け、事業所向けの評価の結果を踏まえ、改善すべき点を話し合い、これから更なる業務改善につなげていけるように努めています。	6	8	8	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	昨年度も公表をおこないました。保護者の方々が目を通しやすいように、公式ホームページにて公表しています。また、それに関しての周知文章も配布します。	7	8	8	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	他の事業所や学校関係者の方々からのご意見をいただき、業務改善に向けての話し合いの機会は定期的に設けています。	8	8	8	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	職員のスキルアップのための支援方法やプログラム内容の向上に向けて、定期的にビジョントレーニングの企業サポート講座に参加しています。今年度は、コグトレ学会副代表理事「宮口英樹」先生の講演研修を学びました。	9	8	8	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	各保護者や保育園・幼稚園・学校等と連携を取りながら、実際に、子どもたちと関わり、一人一人の発達の段階を見極めたうえで、支援内容を考慮しています。また、個別支援計画原案を作成し、一人一人に応じての計画作成会議をおこない、子どもの発達についての話し合いを実施し、その結果をもとに定期的に各保護者と面談をおこない、支援計画に反映させています。	10	8	8	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	一人一人、当事業所をご利用して頂くにあたり、各保護者と面談をおこない、現在の子どもの様子の聞き取りをおこないアセスメントシートに起こし、全ての職員が情報を常に共有していけるように使用しています。書式は、基本的な生活習慣、学習面、運動面、メンタル面、困っていること、心配なこと等、見やすいように記載を工夫しています。	11	8	8	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	児童発達支援管理責任者は、一人一人の発達の段階を見極め、支援目標を設定し、その内容に基づき支援内容を分かりやすく記載しています。また、家族支援・地域支援・災害支援など、適切な内容を考慮し工夫し組み立てています。令和6年度より、更に細やかに5領域を組み込み、具体的にわかりやすく支援を記載していく予定です。	12	8	8	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	個別支援計画原案会議やモニタリング会議等を定期的におこない、支援目標の見直しや、支援内容の方向性を考慮し、その計画に沿って支援をおこなっています。引き続き実施していきます。	13	8	8	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	その日の利用児童に沿ったねらいを決め、活動内容を考え工夫しています。	14	8	8	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	子どもたちの動きを振り返り、集中が長続きしにくい子どもたちでも飽きがこないように工夫しています。	15	8	8		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	子ども一人一人の発達の段階を見極め把握し、支援計画による支援目標に沿って活動内容を工夫しおこなっています。	16	8	8	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	活動内容の打ち合わせは、毎日13時からおこなっています。午前の活動の打ち合わせは、前日におこなうこともあります。送迎に対応し話し合いができない時もあります。そのような場合には、当日の朝、内容を共有する場合があります。	17	8	8	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	午前と午後に分けて、活動終了後には、子どもの様子の変化や、反省点、支援内容の見直し等を話しあうこともあります。また、HUGでの活動日報に記録や振り返りを打ち込み、職員全員で周知することを徹底しています。	18	8	8	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日々の支援記録は、導入ソフトHUGより、写真も含め徹底して記録に残しています。また、定期的にミーティングをおこない、記録をもとに支援内容を共有し、より良い療育活動につなげていけるよう改善に努めています。	19	8	8	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	モニタリング会議資料を作成し、その内容に基づいて会議をおこない、支援目標・支援内容の見直しをおこなっています。その際、どの職員も、子どもに対しての見立てや手立ての意見を出し合い、常に計画に反映していけるよう努めています。	20	8	8	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達支援管理責任者は、相談支援専門員による申し出があると、その対象児童の学校や関係機関へ出向き、サービス担当者会議に参加している。その際、子どもの様子や、支援目標、支援内容など、必要な事項を記載した資料を必ず作成提出し、保護者、相談員、先生と情報共有をおこない対応をおこなっています。	21	8	8	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	各関係機関(相談支援事業所・学校・保育園・幼稚園・児童発達支援センター)と連携し、子どもの姿と支援内容、また、保護者の意向と支援内容等を共有し支援をおこなっています。	22	8	8	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	####	####	受け入れをおこなっていません。	23			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	####	####	受け入れをおこなっていません。	24			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	相談支援事業所よりご依頼を受けた時のみ、共有をおこなっています。電話での連絡の場合もありますし、保育園や幼稚園、関係機関に出向き会議に参加し資料を提出する場合があります。	25	8	8	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	相談支援事業所よりご依頼を受けた時のみ、共有をおこなっています。電話での連絡の場合もありますし、学校に出向き会議として参加し資料を提出する場合があります。	26	8	8	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	各市町の児童発達支援センターの担当保健師と適宜連携を取り合い、支援を必要とする子どもたちの情報を共有し、適切な対応をおこなっています。	27	8	8	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%	毎年年に1度、ご家族全員参加型で、地域の小学校の体育館をお借りして「運動会」を実施しています。	28	8	8	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%	自立支援協議会、子ども部会等への会議には参加していませんが、これから機会があれば、参加していけるよう努めていきます。	29	8		8
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	各ご自宅に送迎に行った際、保護者の心配事や、お悩み、最近のご様子など聞き取りをこまめにおこなっています。しかし、午前を対象児童におきましては、保育園から保育園への送迎対応となるため、直接的に保護者と接する機会はほとんどありません。そのような場合におきましても、導入ソフトHUGより、支援内容を細かくご説明し、それに対するコメントもいただき、成長における情報の共有は工夫しておこなっています。また、電話でのご連絡によりお話しをする場合があります。	30	8	8	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	子育ての対応に悩んでいる保護者や心配事を抱えている保護者に対してなど、その都度個別に対応しています。どうすれば、子育てがしやすくなるのか、子どもへの接し方や声掛けの仕方など、子育てに対しての見通しが少しでも持ちやすくなるように、そして楽しみながら子育てに向き合っていけるように話し合う機会を設けています。	31	8	8	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	重要事項説明書・利用契約書に基づき、適切な説明をおこなっています。	32	8	8	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	全児童に個別支援計画書を作成し、各ご家庭に配布する際には事前に説明を行っています。ご自宅保存分もお渡し、事業所にも署名・印鑑を頂き、全員個人ケースファイルに分けて保管しています。	33	8	8	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎の際にご相談を受ける場合もありますが、直接ご連絡で受ける場合もあります。相談の内容に応じて、最近のご様子や事業所での様子を共有する機会を設けています。また、6か月に1度、モニタリング面談においても詳しくお聞きし、記録にとって全職員で共有しています。	34	8	8	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	年に1度、事業所間において、ご家族全員で参加型の「運動会」を実施しております。その際、各保護者の方たちの交流も深まり、一緒に競技を楽しみ、共感し合っ、情報交換もおこなっている様子です。	35	8	8	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談を受けた場合には、関わっている職員全員で話し合い、共有し、より良い対策を考慮し対応しています。	36	8	8	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	事業所で導入しているソフトHUGにより、常に保護者様にはお知らせをおこなっています。	37	8	8	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	HUGにより、色々と情報を掲載していますが、他の友だちの顔部分を分からないように隠して公開するなどの配慮はきちんと行っています。また、各保護者に対しても、十分に気をつけて対応しています。	38	8	8	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	「目で見てわかること」を大切にに関わり方には最善の工夫を考慮しています。特に一人一人の発達の段階や年齢に応じて、場面の切り替わりや、事前予告など工夫しておこなっています。保護者に対しても、分かりやすく説明をおこない、見通しを持って接していけるような配慮をおこなっています。	39	8	8	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	ホームページに掲載する、SNSやインスタグラム、チラシを配布するなどの手段を使って、事業所の体験見学や、親子体験会を実施し、ジョイントトレーニングについてお伝えしています。	40	8	8	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し、各ご家庭に周知していただくために、今年度より、公式ホームページにて掲載しています。4月には周知文章も配布いたします。	41	8	8	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など	No	集計数	はい	いいえ
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	月に1度、火災・地震の避難訓練を実施しています。曜日によって利用児童が異なりますので、定期的に全員が訓練に参加できるように年間計画を立てています。しかし、訓練として経験できることは、年に1度ぐらい、体調不良などで欠席されるという場合もあります。その旨は、各保護者様に契約時にご説明をさせていただいております。	42	8	8	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	0%	100%	アレルギーや持病等・服薬等においては把握していますが、予防接種においては確認を取っていません。	43	8		8
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%	アレルギーは把握していますが、医師による指示書に基づく対応は致しておりません。	44	8		8
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	その都度、ヒヤリとした瞬間の情報を共有し、職員間で話し合っています。また、記録に残し保管し、全職員で周知をおこなっています。	45	8	8	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に一度、全職員に研修を実施しています。	46	8	8	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	####	####	身体拘束を必要とする児童を受け入れておりません。	47			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。